



公認心理師監修

イヤイヤ期 4つのNG対応

For your children

95%の子育てママが
ついついやっている
子どもの「イヤイヤ」への
NG対応

MORE INFO AT [COCOLOLABO.COM](https://cocololabo.com)

こんなことしていませんか？

イヤイヤ期

4つのNG対応

1. 大声で怒鳴る/脅す

いくら言っても、何度言っても、
いうことをきかない子どもにイライラ。
「いい加減にしなさい！」と怒鳴ったり
「〇〇しないと、オヤツ無しだからね！」
と脅したり、していませんか？

大声を出せば、もしくは脅せば、
とりあえずその場で子どもは親の言うことに従うか
もしれません。

しかし…この「恐怖モチベーション」の効果は持続
しません。子どもは親の怒鳴り声や（時にハツタリ
の）脅しになれてしまい、《もっと》大きな声、
《もっと》怖い脅し、とエスカレートしなければい
けなくなります。

そして、子どもはお友だちに対して脅したり怒鳴っ
たり、親への信頼感を無くしたり、子どもの心の成
長にもマイナス影響が出てしまいます。

こんなことしていませんか？

イヤイヤ期

4つのNG対応

2. 子どもの言いなり

スーパーに買い物に行く度に

「お菓子買って！」と駄々をこねる子ども。

「今日はお菓子買わない約束だよね」と言っても

寝転んで大声で喚く子どもに

結局いつも親が折れて、お菓子を買って与える。

こんなことしていませんか？

所かまわず、周りの目も気にせず泣きわめく子どもに疲れ果て、もうそうするしかない…そんな気持ちで子どもの要求をのんでいるのかもしれない。

しかし…子どもが駄々をこねたから、という理由で子どもの要求を叶えることをしていると、「子どもは駄々をこねれば自分の要求が通る」ということを学んでしまいます。

「困った行動」をとりあえず治めるため、と思っただけで、かえってその問題行動が起きる確率を増やしてしまっているのです。

こんなことしていませんか？

イヤイヤ期

4つのNG対応

3. 子どもに命令する

朝起きてから、パジャマのまままで遊んでいてなかなか着替えしない子に「お着替えしなさい」
せっかく用意したご飯を口にほとんど運ばず
ご飯で遊ぶ子に「早くご飯食べなさい」
なんて子どもに命令していいいませんか？

子どもはなかなか親の思うペースで物事を進めることが出来ません。そんな時についイライラして子どもに「～しなさい」と命令する。

しかし…この命令口調で子どもに接していると子どもはどんどん自ら動かない、考えない、「受け身の人間」になってしまいます。

親からの命令を待ち、その命令に従うだけの人間。

これは子どもになって欲しい「自立した人間」と正反対の人間です。

こんなことしていませんか？

イヤイヤ期

4つのNG対応

4. お菓子やおもちゃでつる

公園からなかなか帰らない子どもに
「お家に帰ったらオヤツあげるから帰ろう」

「帰ったらテレビ観ようか」

など、子どもの好きな物で子どもをつること
していませんか？

子どもにとって、もっと魅力的なこと（物）を
選択肢としてあげて、「子どもに決断」
させているかのように見えるこの行動も
実は親が子どもの行動をコントロール
しているだけなのです。

毎回このように「ご褒美でつる」ことをしていると、
子どもはその「ご褒美」がないと
行動しなくなります。

また、子どもコントロールしようとすることは
知らず知らずのうちに子どもの
「自主性」を踏みにじているのです。